

約1年半ぶりの集合研修会を開催～茨城県農業経営士協会鹿行支部鉾田分会～

11月26日（金）、鉾田市在住の茨城県農業経営士16名で構成されている、県農業経営士協会鹿行支部鉾田分会（分会長：石田和徳農業経営士）が、鉾田市箕輪の「いこいの村潤沼」で研修会を開催しました。

研修会では、伊藤農園.Fの代表取締役である伊藤健農業経営士が、令和3年度の全国優良経営体表彰担い手づくり部門で農林水産大臣賞を受賞した、担い手育成に関して説明を行いました。

伊藤経営士は、研修生に対し、トマトの栽培技術を教えるだけでなく、経営管理やハウスの建て方、資材の見方、災害等に対するリスク管理なども指導し、研修が終了して独立経営を開始した元研修生に対しては、「いとうさんちのトマト」というブランドで、共同で量販店等に販売することで、新規就農者の大きな課題である販売面をフォローしている、といったお話をされました。

また、「研修生はファミリーであり、更なる経営発展を目指して共に切磋琢磨している。しかし、農業に向いていないと思う就農希望者もいるので、研修を受け入れる前に見極めることも大事」といった、担い手育成に関する思いも語られました。

伊藤経営士の講話後、今年度から県農業経営士協会長に就任された畠長弘経営士が、経営士協会の活動について報告しました。

会員が集まる機会は約1年半ぶりで、それぞれの近況を語り合いながら、担い手の育成について話し合う研修会となりました。

普及センターでは、今後も農業経営士協会の活動を支援していきます。

令和3年12月3日（担い手）

